

笠間ファン倶楽部通信

2008 秋号

VOL.016

http://www.city.kasama.lg.jp/ss_info/fanclub/index.html



空気が丸い 文・竹内順一 (茨城県陶芸美術館 館長)

笠間に通うようになってから何年になるでしょうか。

私は、「心構え」として、初めて訪れたときの印象を、いつも「忘れないように」に努めています。

なぜなら、どんなに素晴らしい土地に行っても、それが毎日のことになると、ついつい「当たり前のこと」となって、「日常性」のなかに埋没してしまうからです。知らない土地を旅して、見るもの、聞くもの、すべてが新鮮であれば、これほど素敵なおことはありません。旅行の遊びの一つです。いつも「異邦人」であることを我が身に課す、といひましょか、そうした「心構え」でいれば、毎日が何かを発見する旅にもなります。

笠間は、「特別なことはなにもない土地」かもしれません。しかし、数年前に初めて笠間に来た私にとって、最も印象深かったことは、「空気が丸い」と感じたことです。

これには、少々説明が要ります。

そもそも「空気が丸い」という感覚を知ったのは、だいが前に読んだ、将棋の米長棋士の本からです。将棋を知らない方にとっては、突然固有有名詞が出るので唐突に聞こえるかも知れませんが、米長という人は、なかなか変わったことをする棋士でした。現在は、将棋

連盟の会長ははずです。

当時、新名人となった、若手の谷川という棋士の「家を見てみたい」と思い立ち、わざわざ関西(たしか神戸だったと思います)にまで出かけたのです。むろん事前に断りをいれ、「家を見る」といっても、お茶を飲んで来るだけでした。新名人がどうして生まれたかを知るには、「家」を見て、両親に会えば良いと思ったそうです。そこで、「家の空気が丸い」と感じたそうです。両親の醸し出す空気が穏やかで、会話も和やかだった。こうした「家」から名人が生まれると実感したそうです。

この本を読んで以来、私の頭の中に、「空気が丸い」ということが植え付けられました。そうして、いつかこの「丸さ」を感じたいと思うようになりました。

ところが、私が勤務する「笠間芸術の森公園」はむろん、常磐線の友部駅から笠間に来る道筋、あるいは笠間の町も空気が穏やかです。刺々しさがありません。なぜでしょうか。

笠間の陶芸作家の工房を訪問すると、「家の空気が丸い」ということをいやが上にも感



じます。自分の家も「こんな空気の家」にしたいと、いつも思うほどです。そのうえ、工房だけではなく、茨城県陶芸美術館で作家との集まりがあるときにも、それを感じます。「丸い空気」は、地域や家から生まれるのではなく、「人」から発するのでしょう。

一つだけ断言できるのは、精神が貧しいところでは、こうはならないということです。作家が何かを求め、それを周囲が支持する、そういう自然な関係が出来上がっているのでしょう。

こうした感じは、毎日笠間で暮らしていると、おそらく感得できない事柄かもしれません。そこで、「心構えとしての異邦人」です。今後も新鮮な目で、笠間から何か「普通なもの」で「大事なもの」を発見したいと思っています。



Kasama

表紙の写真/假屋崎省吾氏によるフラワーデモンストレーション(左上)、笠間クラインガルテンとそば畑(右上)、笠間稲荷神社の流鏝馬(左下)、春風萬里荘の夢境庵(右下)

秋の笠間はお楽しみがいっぱい！ 秋のイベント情報 ~第23回 国民文化祭・いばらき2008~

- | | | |
|----------------|----------------------|--------------------------------|
| 笠間昔話
春風萬里荘 | 笠間再発見
バザール de いわま | メイド・イン・笠間で行こう！
笠間市 常陸秋そば研究会 |
| 観光客が選ぶおすすめショップ | FAN FAN KASAMA | 我らは笠間応援団！ ほか |

笠間ファン倶楽部 *活動報告*



種まき体験で汗を流す参加者の皆様。次回のそば刈り体験も楽しみです。

とことん手づくり そばづくり体験

8月30日に笠間市のグリーンツーリズム推進室と共催で“常陸秋そばをとことん楽しもう”という体験事業の第1回目「種まき体験」を開催しました。不順な天候でしたが、奇跡的に雨も上がり、種まきのほかに、地元のお店の手打ちそばやご夫人の手料理の昼食を頂いたり、「松佐陶工房」でMYそば器作りを体験したりと、色々楽しめたと思います。今後は「そば刈り体験」と「そば打ち体験」を実施していきますので、皆様のたくさんのご参加をお待ちしています！

笠間ファン倶楽部 *会員募集中*

笠間ファン倶楽部は、笠間の隠れた情報を発信し、交流人(外の目)が多い笠間人(内の目)とふれあえる場をつくる新しい仕組みです。笠間人も交流人も、互いに心の豊かさを感じられるような場にしていきたいと思っています。なお、会費は無料ですので、ぜひ皆さんお申し込み下さい。

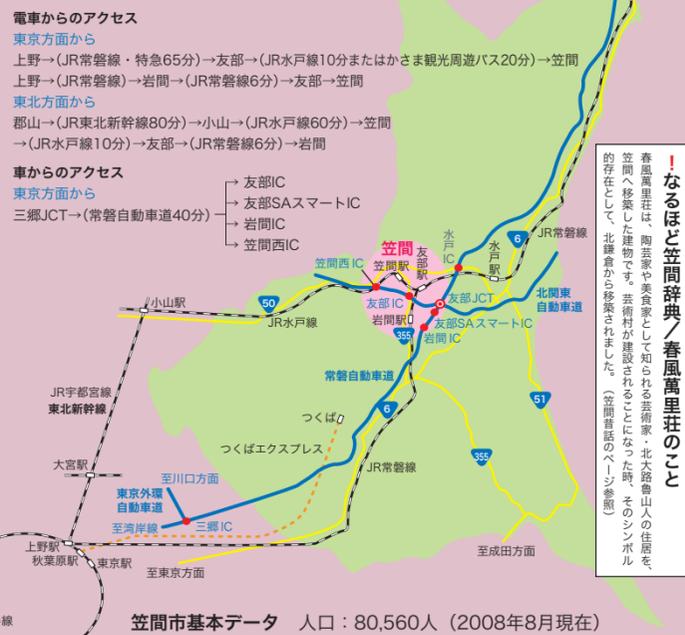
●会員特典/レンタサイクル1日料金を半額(800→400円)、スカイロッジ宿泊料金を20%割引(土曜、祝前日、7/21~8/31の期間は除く)、本誌の発送(年4回)ほか多数！

●申込み/住所、氏名、メールアドレス、生年月日、笠間市への応援文等をご記入の上、はがき・FAX・メールのいずれかで下記へ。

申込み先/笠間市 産業経済部 商工観光課

〒309-1792 茨城県笠間市中央三丁目2番1号
TEL 0296-77-1101 FAX 0296-77-1146
E-mail kasamafan@city.kasama.ibaraki.jp

笠間 アクセスマップ



！なるほど笠間辞典/春風萬里荘のこと
春風萬里荘は、陶芸家と美学家として知られる若原 隆一、北原 隆一、山田 隆一の住居を空間へ移した建物です。芸術村が建設されることになった時、そのシンボル的存在として、北原 隆一が移築されました。(「笠間」のページ参照)

笠間市基本データ 人口：80,560人 (2008年8月現在)
面積：240.25km² 駅の数：6駅 高速道路ICの数：4箇所
この機関誌は、再生紙、大豆油インクを使用しています。 R100 PRINTED WITH SOY INK

移築当時の春風萬里荘 (昭和40年)

笠間昔話



芸術村のシンボルとして北鎌倉より移築された魯山人の住居

昭和39年のこと、日動画廊の社長・長谷川仁が、洋画家・朝井閑右衛門や作家・田村泰次郎を伴って、長谷川の郷里である笠間を訪れました。そこで当時の市長・長谷川好三との間で、笠間にアトリエを作りたいとの話が持たれ、芸術村建設の発端となりました。芸術家の集まる村を作って、まちづくりをしようと考えたのです。日動画廊の長谷川仁が中心となって誘致し、当初の入村者は朝井と田村のほか、洋画家の中村研一、林武、梅原竜三郎、田中三郎、足立源一郎、高島達四郎、陶芸家の加藤土師萌(はじめ)、勝尾青竜洞など、著名な芸術家が名を連ねました。そうして、昭和40年に「芸術の村」は開設されました。そのシンボルとして、村の中央に

は北大路魯山人が住居としていた、約300m²の茅葺き民家を北鎌倉より移築し「春風萬里荘」と名付けました。春風萬里とは魯山人が好んで用いていた李白の漢詩にある言葉です。萬里荘の前には、広大な庭園があり、桜、梅、つつじ、もみじ、花菖蒲をはじめとする多くの草木が生い茂り、四季折々の花々が来訪者の心を和ませてくれます。また、江戸時代の豪農屋敷の長屋門、魯山人自らが設計した茶室の夢境庵、京都・龍安寺を模して作らせた枯山水による石庭、睡蓮の池にかかる太鼓橋なども整えられてあり、心の憩い、癒しの空間になっています。世間の雑踏で疲れた時、フッと心を休めに行ってみてはいかがでしょうか。(文章中・敬称略)



写真左/紅葉の頃の春風萬里荘。庭園を散策すると、こんな自然いっばいの景色にも出会えます。2007年撮影。
写真右/昨年行われた笠間ファン倶楽部参加の「魯山人野点茶会」というイベントにて。春風萬里荘はお茶を楽しむには絶好のロケーションです。

【春風萬里荘】
住/笠間市下市毛1371-3
電/029672-0958
休/月曜日
(祝日の場合はその翌日)



笠間再発見! VOL.016

本部テントでは肉入りの焼きそばが250円と格安で販売されていました。一番左は実行委員長の根本次雄さん。

【天狗の郷 バザール de いわま】
開催日時/毎月第2日曜日(雨天決行)
9:00~15:00
問合せ/バザール de いわま 実行委員会
090-3009-7883(根本)



“バザール de いわま”で岩間駅前を盛り上げろ!



JR常磐線の岩間駅。駅を出て左側の道路沿いで“バザール de いわま”は開催されています。駐車スペースもあります。



愛宕山を望む駅前通りの様子は…

JR常磐線の岩間駅前で、地元商店街の振興を目的として“天狗の郷バザール de いわま”が始まったのは今から6年前。のんびりとした雰囲気人気のイベントで、毎月楽しみにしている人が大勢訪れています。出店料がひと区画500円と安価であるのも特徴で、平均80~90の出店者が県内外から参加。当日の参加申込もOKです。ちなみに左の写真は、岩間駅を背にして見た“バザール de いわま”開催時の駅前通り「すずらんロード」の様子。正面向こうにはハイキングで人気の愛宕山が見えます。山頂には日本三大火防神社のひとつと言われる愛宕神社があり、駅前通りは、かつて、その参道として賑わいを見せていました。“バザール de いわま”と地元商店街との連携を工夫することで、お互いの活性化が図れるはず。今後の盛り上がりを期待しています。



秋のイベント情報

笠間日動美術館

日仏交流150周年記念
フジタとモンパルナスの仲間たち
9/13(土)～11/30(日)
金子コレクションから見た金山平三の世界
9/13(土)～11/30(日)
コンサート「天満敦子ヴァイオリンコンサート」
9/20(土) 開演18:00
鼎談会「フジタと日動画廊」
10/4(土) 14:00～15:00
講演会「フジタのアトリエ物語」
11/8(土) 14:00～15:00
問/ tel 0296-72-2160
www.nichido-garo.co.jp/museum

笠間アートのまちめぐり

9/13(土)～11/30(日)
笠間稲荷美術館、笠間日動美術館、茨城県陶芸美術館、春風萬里荘の市内4か所の美術館等を巡るシールラリー。参加者は2番目の会場から入場料を割引。また、シールを全て集めると、各館で使えるペア招待券をプレゼント。また、Wチャンスで笠間焼が抽選で当たります。
問/茨城県陶芸美術館 tel 0296-70-0011
www.tougei.museum.ibk.ed.jp

笠間稲荷神社

薪能 9/23(火・祝) 開演18:30
料/5,000円(全席自由)
場/笠間稲荷神社 拜殿前特設舞台
落語の公演(茨城大学落語研究会)
10/18(土)～11/24(月・祝)の土・日・祝日
料/無料 場/笠間稲荷神社 境内 野外演芸場
物販店の開設(笠間市内菓子製造専門店8社)
10/18(土)～11/24(月・祝) 9:00～16:00
場/笠間稲荷神社 境内 美術館右脇休憩所
第101回 笠間の菊まつり(大菊花展)
10/18(土)～11/24(月・祝) 6:00～日没
場/笠間稲荷神社 境内
第101回 笠間の菊まつり(菊人形展)
10/18(土)～11/24(月・祝) 8:30～16:30
場/笠間稲荷神社 特設会場
料/大人(高校生以上)800円、小中生400円
第101回 笠間の菊まつり(図画コンクール)
10/18(土)～11/24(月・祝) 8:30～16:30
場/笠間稲荷神社 特設会場
キツネの土面展示
10/18(土)～11/24(月・祝) 8:30～16:30
場/笠間稲荷神社 門前通り周辺
かざま・菊あかり回廊
11/7(金)～11/9(日) 17:00～21:00
場/笠間稲荷神社 境内、周辺商店街
かざま落語会
11/8(土) 18:30～
三遊亭歌之助、立川藤志楼こと高田文夫の出演。
場/笠間稲荷神社 嘉辰殿
奉納 大和古流
11/9(日) 10:00～

場/笠間稲荷神社 境内
舞楽祭
11/16(日) 10:00～、14:00～
場/笠間稲荷神社
問/ tel 0296-73-0001 www.kasama.or.jp

茨城県陶芸美術館

世界に誇る和製テーブルウェア
オールドノリタケと懐かしの洋食器
9/27(土)～11/16(日)
ギャラリートーク(企画展担当学芸員による展示解説) 9/27(土)、10/5(日)
デザインコンクール「華麗に彩る和製デザイナー

ウェア) 9/27(土)～10/25(土)
美術講習会「海を越えた明治のロマン～オールドノリタケのモダニズム」10/11(土)
問/ tel 0296-70-0011
www.tougei.museum.ibk.ed.jp

笠間工芸の丘

大賞博之陶展 10/8(水)～10/19(日)
笠間焼フェア企画展 10/8(水)～10/19(日)
茨城工芸会 笠間工芸の丘展 10/22(水)～11/9(日)
糸賀陶房新作展 11/12(水)～11/24(月・祝)
南部漸陶芸展 11/12(水)～11/24(月・祝)
加澤弘大作陶展 11/27(木)～12/7(日)



第23回国民文化祭 いばらき2008 平成20年11月1日(土)～9日(日)

【第23回 国民文化祭・いばらき2008 広域文化交流事業】

匠の彩り・笠間 笠間・炎の祭典

11/1(土)～11/9(日)
場/笠間芸術の森公園 ほか



※ほかに「笠間アートのまちめぐり」「美術展(工芸美術)」「忠臣蔵サミット」などを開催します。

【第23回 国民文化祭・いばらき2008 広域文化交流事業】

ときを超えて息づく石たち～里山アート～ ストーン文化フェスティバル

11/1(土)～11/9(日)
場/笠間芸術の森公園 ほか



匠のまつり
10/31(金)～11/3(月・祝) 9:00～16:00
笠間焼の展示販売をはじめ、オークションやキツネの土面コンクールなどを実施します。
場/笠間芸術の森公園 イベント広場
問/(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222

酒と食と器展
10/31(金)～11/3(月・祝)
地酒と食をテーマに、徳利やぐい呑みを展示。
場/笠間芸術の森公園 イベント広場

花と器と炎展
10/31(金)～11/9(日)
アマチュア陶芸展で入選した花器などを展示。
場/笠間工芸の丘、匠工房空間(茨城県窯業指導所)

いばらきストーンフェスティバル
10/31(金)～11/3(月・祝) 9:00～16:00
全国屈指の石の産地として知られる、稲田、羽黒、大和、真壁の各種石製品を展示即売します。
場/笠間芸術の森公園 イベント広場
問/稲田石材商工業協同組合 tel 0296-74-2049

いなだストーンエキシビジョン
10/31(金)～11/9(日) 9:00～16:00
日本を代表するグラフィックデザイナーがデザインし、稲田の石匠が魂を込めて制作したアート作品展。実際の石切場が舞台です。
場/中野組石材工業(株) 石切場
問/稲田石材商工業協同組合 tel 0296-74-2049
www.ibarakiken.or.jp/inada

第101回 笠間の菊まつり 10/18(土)～11/24(月・祝) 第23回 国民文化祭・いばらき2008/関連イベント充実

阿形一郎 阿形さおり二人展 11/27(木)～12/7(日)
問/ tel 0296-70-1313
www.kasama-craft hills.co.jp

第2回 かざま新粟まつり
10/4(土) 9:00～15:30、10/5(日) 9:00～15:00
乗に関連したハンドメイドフェアや乗カフェ、乗試食会などが行われます。
場/栗の家 庭園
問/笠間市農政課 tel 0296-77-1101

第11回 笠間焼フェア
10/11(土)～10/13(月・祝) 10:00～17:00
「多様な個展のあり方」と「笠間焼の現在(いま)」をテーマに、新作を展示即売。また、特別企画展として「もてなしの皿展」を開催します。
場/笠間工芸の丘特設会場
問/笠間焼協同組合 tel 0296-73-0058
www.kasamayaki.or.jp

笠間ひまわり行灯夜市
10/12(日) 17:00～21:00
今年度「茨城県がんばる商店街支援事業優秀プラン」。ひまわり油と笠間焼・みかげ石行灯を活用し、笠間の夜を楽しむ新イベントです。
場/笠間稲荷門前通り商店街
問/商店街事務局 柏屋 tel 0296-72-0139

ミツレミア in 笠間
10/14(火) 通過予定7:00～8:30
有名人も多数参加。歴代の名車が大集合するクラシックカーのラリーです。笠間稲荷神社前がチェックポイントになります。
場/笠間稲荷門前通り・国道355号
問/笠間市商工観光課 tel 0296-77-1101

ふるさと友部まつり
10/18(土) 9:00～16:00
10/19(日) 9:00～15:30
新沼謙治、大石まどかの歌謡ショーのほか、農産物の販売や模擬店、パザーなどを開催。
場/笠間市立友部公民館
問/笠間市友部商工会 tel 0296-77-0532

笠間稲荷美術館
雪村展 10/18(土)～11/24(月・祝) 8:00～16:30
料/大人300円、高大生200円、小中生100円
問/笠間稲荷神社 tel 0296-73-0001
www.kasama.or.jp

出雲大社 常陸教會
秋季大祭 10/19(日) 11:00
ご本殿おみわふみ、謝恩石奉納の神事です。
出雲屋敷祈念祭 11/23(日) 8:00
ご遷座記念祭・龍蛇神祭 12/16(火) 17:00
年越大祓 12/23(火・祝) 14:00
問/ tel 0296-74-3000
www.izumotaisha.or.jp

ゴールデンチャレンジカップ2008 茨城シリーズ
10/19(日) 試合開始13:30～
欽ちゃん率いる「茨城ゴールデンゴールズ」が今年も笠間にやって来ます。華麗なマイクパフォーマンスが楽しみ！
場/笠間市民球場
問/笠間市商工会 tel 0296-72-0844

おいなりサミット2008 第3回 笠間お稲荷さんコンテスト
10/25(土) 開場12:30、審査開始13:00
全国に公募するアイディア稲荷寿司のコンテスト。応募等の詳細は、下記HPをご覧ください。なお、当日の一般審査員も募集しています。
場/笠間稲荷神社 稲光閣
問/笠間市商工観光課 tel 0296-77-1101
www.city.kasama.lg.jp/ss_info/index.html

笠間骨董我楽多市
10/31(金)～11/3(月・祝) 9:00～16:00
場/笠間稲荷神社前笹目酒造裏駐車場
問/(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222

六所神社祭礼
11月上旬 場/六所神社
問/(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222

匠工房・笠間フェア
11/1(土)～11/3(月・祝) 9:00～16:00
場/茨城県工業技術センター窯業指導所
問/ tel 0296-72-0316
www.kougise.pref.ibaraki.jp/yougyou/

神事 流鏝馬(やぶさめ)
11/3(月・祝) 10:00～、14:00～
場/笠間小学校前特設馬場
問/笠間稲荷神社 tel 0296-73-0001
www.kasama.or.jp

「登り窯で焼こう！」登り窯焼成
11/4(火)～11/9(日)
場/笠間工芸の丘 登り窯
問/ tel 0296-70-1313
www.kasama-craft hills.co.jp

常陸の國 鞠祭(ふいごまつり)
11/8(土) 15:00～
場/天正宮公誠殿境内(岩間地区)
問/(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222

假屋崎省吾の世界
11/16(日)
フラワーデモンストレーション&トークショー。
場/笠間稲荷神社
問/笠間市商工観光課 tel 0296-77-1101

'08いわま商まつり
11/16(日) 9:00～15:00

場/岩間駅南広場、駅南道路
問/笠間市岩間商工会 tel 0299-45-5711
www16.ocn.ne.jp/iwama-s

ダイワへらマスターズ2008 全国決勝大会
11/14(金)～11/16(日) 9:00～15:00
日本全国、各エリアでの予選を勝ち抜いた選手たちが笠間に集結。決勝大会が開催されます。
場/友部湯崎湖
問/ tel 0296-78-0127
www.euclid.jp/yuzakiko/event.jsp

2008 魯山人野点茶会
～拜啓 魯山人さま お席のご用意ができました。
11/22(土)・11/23(日) 10:00～16:00
場/春風萬里荘 料/お抹茶300円(別途入場料)
※会員特典あり(詳細は会員へ別途)
問/笠間日動美術館 tel 0296-72-2160
www.nichido-garo.co.jp/shunpu/

おいなりサミット2008 第2回 ひよひバク選手権
11/23(日)・11/24(月・祝) 10:00～15:00
笠間名物いなり寿司を中心に「ひよひ」とつまんで「バクッ」と食べたい街の名物が大集合！豊かな自然に育まれた笠間の食の祭典です。
場/笠間稲荷神社 大型車お祓い所(笠間稲荷門前通り)
問/笠間市商工観光課 tel 0296-77-1101

笠間観光フォトコンテスト作品募集
応募期限 11/28(金)まで
問/(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222

やきもの通り 登り窯まつり
12/5(金)～12/7(日)
伝統の登り窯に今年も火が入ります。
場/やきもの通り・奥田製陶所
問/奥田製陶所 tel 0296-72-0717

陶のオルゴール展
12/6(土)～12/25(木)
笠間焼のオルゴールの展示販売。12/7(日)はクリスマスコンサートを実施します。
場/陶の小径
問/やまさき陶苑 tel 0296-72-6865

ギャラリーロード和器逢合(わきあいあい)
12/6(土)～12/21(日)
ギャラリーロード各店に小さなギャラリーを開設し、様々な作品を展示します。
場/ギャラリーロード
問/樽 tel 0296-72-1358

悪態まつり
12/21(日) 場/愛宕神社
悪態(悪口)を言い合い、天狗に邪魔されながらお供え物を奪い合うという変わったお祭り。
問/(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222

Made in KASAMA

メイド・イン・笠間で行こう!



笠間クラインガルテン内で食べられる「もりそば」は、600円とお手頃価格。



笠間市・常陸秋そば研究会の小西実会長。



質の高い自慢の笠間・常陸秋そば。石挽きそば、1,500円で販売中。

【その14】笠間市・常陸秋そば研究会

笠間はそばを作るのに恵まれた土地なんです。

全国各地には、その土地の名物が数多くあります。松坂牛や山形のさくらんぼ・佐藤錦、魚沼産のこしひかり、夕張メロンなどですが、それがブランドとなっています。そして、食の大国と言われる茨城県にもおいしい食べ物がたくさんあります。その中でも、風土的にも昔から食べられていた「そば」は日本一おいしいと言われており、評判も上々です。そんな中、行政もバックアップして、おいしいそばを全国の人に食べてもらおうと、「常陸秋そば」という銘柄が登場したのです。笠間市飯田にお住まいの笠間市・常陸秋そば研究会の会長である小西実さん(58歳)にお話を伺いました。研究会は10数年前に市内でそばを生産している6名で立ち上げ、作付け面積も35haを

誇っています。「金砂郷(現在の常陸太田市)のそばはおいしいと有名ですが、笠間も四方を山に囲まれた盆地で、寒暖の差が大きく、そばを作るのに恵まれた土地なんです」と胸を張ります。元々は、たばこ栽培で夏収穫したあとの、農閑期を利用してそばの栽培をはじめたそうです。研究会では組織化することによって、補助金等を利用した機械化などを行ったり、年1、2回は先進地視察を行い、おいしいそばを全国の人に食べてもらおうと、その努力が実り、1996年には茨城県共進会で、最優秀賞を受賞しています。「基本的には無農薬栽培です。責任をもって質の高いそばを作っています。また、笠間産の常陸秋そばをもっと多くの人に知って食べてもらおうと、毎年秋に開催

される“匠まつり”に参加し、PR活動を展開しています」と小西会長。この自慢の笠間産常陸秋そばを味わえる笠間のお店は、「笠間クラインガルテン」、笠間市稲田にある「のざわ」、笠間市笠間の「紅葉亭」などです。また、小西さんたちの努力で、販路も少しずつ広がり、ひたちなか、つくば、埼玉、東京などのそば店に卸して好評を得ているそうです。「地産地消」と言われている中、小西会長も「JAの直売所などで、そば粉で販売しているの、地元の人においしい常陸秋そばをたくさん食べてもらいたいですね」と話しています。8月に種まきをし、4日目には芽を出すというそば。11月には収穫され、お待ちかねの「新そば」が登場します。ぜひご賞味を!

FAN FAN KASAMA

笠間好き集まれ! ファン! ファン! カサマ ※本誌に関するご意見、ご感想をお待ちしています。



間 ファンファンインタビュー

Katsuyoshi Iioka
飯岡一儀さん
ふるさと案内人

昭和11年11月、水戸市生まれの71歳。15歳の時に旧岩間町に赴いて来る。定年後「介護福祉士」の資格を取り、以後、岩間市福祉協議会の各種事業や施設の介護ボランティアとして活動。また、平成12年から地元愛宕山の美化活動に取組み「あたら四季の会」を設立。事務局長として現在に至る。趣味は鉄道での旅と歴史関係。2人の娘は嫁ぎ、現在は妻と2人暮らし。

愛宕山に天狗の風が...

定年を間近に控え、地域社会への復帰のためと思い、「介護福祉士」の資格を得て、社協の作業所、特別養護施設、障害施設などのボランティア活動を行ってきました。また、体力保持にと愛宕山に登っていましたが、あまりにも山が荒廃している姿を見て、気をもんでいた時にちょうど「いばらき森林クラブ」を知り、入会。森林作業のノウハウや資格を得ました。その経験を基に、有志で定期的に清掃活動を始めたのが「あたら四季の会」に発展しました。少しずつ活動範囲が広くなり、登山・歩道部の補修、森林の下刈り、枝打ち、間伐まで手を伸ばしています。また、山野草の植栽、キノコの栽培や行事(桜まつり、駅からハイキング等)にも参画、支援しています。今年は特に、「いやしの森(散策路)づくり事業」に力を入れています。それには森林がもたらす光合成を活性化させ、地球温暖化防止の一助となる効果と、森林浴による日常生活のストレス解消効果があると思います。あたら四季の会、会報1号より光野志のぶさんの言葉です。「下枝が打ち払われると林内は明るくなって、風がスーッと走り抜けていきました。ふと天狗が走り抜けたような気がします。この活動でもう1度、天狗を呼び戻せたらなあ

と思っています。いま愛宕山は、天狗の風が走り抜けています」森林ボランティアで愛宕山の歴史(愛宕神社、飯綱神社、天狗の話)を学ぶ機会を得てから、「縁(えにし)倶楽部」に入会しました。県主催の「わくわく学園生きがいが創造、秀士課程、歴史」を学び、歴史の奥深さ、面白さを知りました。合併を機に「ふるさと案内人」に選ばれましたが、「歴史と芸術のまち笠間」を正しく、分かりやすく案内できるという特別中です。これからの季節、愛宕山のフォレストハウスからスカイロッジに至る道筋のオミエシ(秋の七草)の群落が壮観です。ぜひ見に来て下さい。この活動の中で、いろんな人たちと知り合い、友だちも沢山でき、忙しくも楽しい幸せな日々を送っています。

人 ファンファンビートル

Hidetoshi Onuki
大貫英敏さん
会社役員

水戸市出身。茨城のバンド小唄が長じて東京新宿でライブハウス「新世LIVEたかのや」、インディーズレーベル「ITAKANOKYA RECORDS」の経営と、イベント企画・制作を行う。株式会社たかのや代表取締役社長に就任。昨年6月に笠間市笠間で車庫味が「カフェ・ジュリエッタ」を出店。今年6月より生活拠点も笠間に移行してオーナー兼店長として常駐している。

地元の広報部員的作用

生まれも育ちも水戸市ですが、中学時代からバンド活動に熱中しており、高校時代にバンドの練習場所を求めて、メンバーの紹介で旧岩間町上郷地区にある小学校の分校に出入りするようになりました。そこに出入りする旧笠間市内や旧友部町でバンド活動する方々や、陶芸家、石彫家の方々等と親交を持つようになり、笠間、友部でもライブ等を行うようになったのが最初

の笠間との関わりでした。その後は音楽で生計を立てる事を夢見て東京に出てバンド活動を行い、途中何度か挫折しかけて地元に戻ったり又出たり(苦笑)。そんな事を繰り返す中で、岩間で石垣作りの仕事で住み込みで働いたりした時期もありました。これが20代前半までの笠間との繋がりでしたね。その後は都内での音楽活動の本格化、バンド活動から転じての起業という風に、完全に東京を拠点とした生活となり、笠間には10年以上御無沙汰でした。そんな中、2006年の夏頃から弊社の中で新店舗出店計画が持ち上がり、当初は都内でライブハウスの2号店を考えたのですが、色々迷っているうちに、僕の音楽と並ぶ趣味である「車」に関わる店を出したいと思うようになりました。元々、幼少期にスーパーカーブームに洗脳された世代だったので、中学・高校時代から音楽と同じ位に車に熱中してたんですが、高校の頃にハマった「GT ロマン」と言う車漫画の舞台となる「cafe bar roman」をモチーフにした店を開業するというのが、現在東京で経営している事業と並んで高校時代からの夢だったんですね。そんな店を本気で出店すると、スペースの問題でまず都内では無理です。それで起業当時のいずれは地元でも何かやりたいと言う想いとリンクして茨城に出ようと。当初は地元の水戸市に始まり、つくば市なども候補に挙がりましたが、ひょんな事から今の物件を紹介されたのがきっかけで笠間に出店する事になりました。それまで笠間の事は高校時代の思い出としてだけで、出店候補地としては思いもしませんでした。条件を考えた時に、自分がやるうとしてるコンセプトは中途半端な地方都市よりも、観光地の方が向いていると思いました。また、車好きには堪らないドライブコースが付近に充実している事や、ラ・フェスタ・ミルミリア等と言った車イベントがある事、ツインリンクもてぎへの通り道である事など、車好きには訪れ易い土地だと感じました。そして何よりも、笠

間に秘められたポテンシャルに賭けてみたくなったと言うのが、改めて地元である水戸は無く笠間を選んだ理由ですね。今後は当店で訪れるお客を中心に、笠間の、そして茨城の良さを広めて行き、地元の広報部員的な役割として貢献出来たらと思います。

声 ファンファンボイス

- ～会員の皆様の声、いただきました～
- 笠間の窯場を借りて、年数回陶器作りを楽しんでいます。笠間は小生のふるさととの延長線にある、心からホッとくつろげる土地となっています。ただ笠間は観光資源を遊ばせているという感じがします。笠間を全国区にするための市民の心意気が、いまひとつ伝わってきません。(茨城県/男性)
- 家内が陶芸が好きのため、年に1・2回は笠間に来ておりました。1年間笠間クラインガルテンに入れて頂き、笠間は大変にすばらしい所であることを実感致しました。(東京都/男性)
- 春風萬里荘など魅力があるところがあり、1度伺いましたが楽しめました。さらに良い飲みどころができることを願っています。(東京都/女性)
- 笠間が好きでよく行きます。心が和む何かがあるのです。すばらしい笠間をいつまでも残したいですね。(茨城県/男性)

観光推進マネージャー 小沢に訊け! 第1回

「道路開通でお客が増えるか、素通りされるかは、事前対策が決め手」

笠間市では、4月に茨城県初の「観光推進マネージャー」を迎えました。その観光推進マネージャーの小沢さんにお話を伺います。

Q. 出身はどちらですか?

小沢: 水戸市で生まれ40年間暮らし、その後最近の10年間は転勤で水戸を離れて暮らしていました。

Q. 大手旅行社からの派遣とのことですが、どのような仕事をされていたのですか?

小沢: 30年近くセールスマンでした。特に教育旅行を中心に宗教団体などを担当したのち、本社で旅館、運輸、観光施設の対応をしていました。

Q. 観光推進マネージャーとして具体的にどんな仕事をされているのですか?

小沢: 大項目で北関東道の開通をにらんで宣伝戦略立案と実行です。宣伝はきちんとした戦略で行う、「新規拡大」と「リピーターを高める」このどちらを狙うのかを決めて行い、結果の測定を行い次の手を打つ。観光にとって道路は重要。道路開通で便利になってお客様が増えるか、逆に素通りされるかは事前対策が決め手。待ったなしです。中項目で喜多方=ラーメン、宇都宮=餃子というように笠間の代名詞になるようなグルメ作ります。そのグルメを目的にお客様が来るようにしたい。人は欲と本能で行動します。食欲は「欲」じゃなく生理現象を伴う本能です。見たく食べたい。小項目で観光協会と共に愛宕山「スカイロッジ」のパンフレット全面改訂、宿泊代金見直しを行い、お客様が利用しやすいように営業面の改善を進めています。

「笠間ファン倶楽部」の皆様にお願います。「あなたが好きな笠間のこと」を笠間を知らない10人に教えてあげてください。ご協力よろしくお願います。



観光客が選ぶおすすめシヨップ

雑 地球にやさしい癒しグッズ&CAFE



スピリチュアルcafeギャラリー
サヤの音色

住/笠間市下市毛861-5
問/0296-71-6554
営/11:00~17:30
休/不定休

オーナーのモネさんは、みんなの母親のような人で、誕生日から、生まれ持った才能を教えてください。店内には、天然石プレスレットをはじめ、地球に人に優しい商品がいっぱい。中でも一番の人気商品は、憂鬱な日をハッピーに変える布ナプキン。この気持ちよさは脱帽でした。日々を丁寧に生きること。それはあらゆるものを愛おしいと思える生き方。あなたらしい音色が、この店できっとみつかりますよ。



食 緑に囲まれた山里の大人の隠れ家



遊々禮楽 竹水亭

住/笠間市小原2695
問/0296-77-0611
営/11:30~14:00、17:00~21:00
(20:30ラストオーダー) 休/毎週水曜

店内は木をふんだんに使い落ち着いた雰囲気、贅沢な時間と最高級の上質な料理を味わえる日本料理のお店。うなぎやすっぽん料理、磯料理をはじめとした季節料理がお勧めです。お手軽価格のランチ、定食、一品料理もあり。完全予約の個室も充実しているので、接待や特別な記念日にぴったり。10名以上集まれば送迎バスの利用可。宴会時にはとても便利です。



食 地元食材ふんだん、もち菓子の店



もち菓子の店とみた

住/笠間市押辺2023-8
問/0299-45-0071
営/9:00~18:00
休/毎週月曜

地元、満月餅米をきねでついた「大福」は絶品(105円)。また、栗を使った「岩間の栗」(130円)や「栗ポテト」(105円)もおすすめです。人気は「愛宕山」(115円)、「山路(長)」(250円)など。他にも栗や梅のカンロ、田舎まんじゅう、きんつばなど常時20数種類が店頭と並んでいます。店内では、どら焼の実演販売もあり。手作りの赤飯、山菜おこわは1バック350円。

